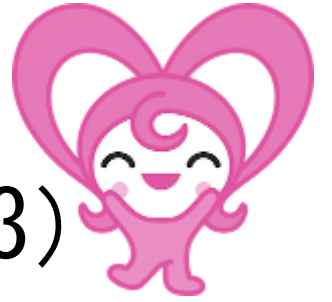




社会福祉協議会「椎名だより」



平成28年度 第1号(通巻13)

発行者：千葉市社会福祉協議会椎名地区部会

千葉市社協マスコットキャラクター

編集者：椎名地区部会広報委員会 代表 岡本 博幸 〒266-0021 千葉市緑区刈田子町28 043-292-1881

ハーティちゃん

平成二十八年年度

椎名地区福祉事業計画

本田 英作

より良い住みよい町づくりをするために、社協椎名地区部会では色々な活動を行っています。その中でも本年度は特に次の三事業を重点事業として掲げ活動したいと思えます。

1 地域の「きずな」をより良くする活動

住民間のコミュニケーション「きずな」づくりはとても大切な事柄であります。各団体との連携を図りながら活動を促進していきます。

2 地域で子どもを育てる活動

○防犯・見守り・挨拶運動事業

これらの活動を通して、子どもの安全を守るための活動を推進していきます。

○地域住民と学童との「ふれあい」事業

ものづくり、伝承遊び、地域伝承文化などを教えあい「きずな」を築きます。

○福祉教育授業支援事業

障害を持った方との交流を通して理解しあい「思いやり」ある人に育つように支援します。

「わたしにもできる」福祉的なお手伝いをしたいという心を育てます。

○高齢者と学童との「ふれあい」事業

昔の生活状況の話、お年寄りとのゲーム、会食、合唱などで交流を深めます。

○食育教育支援事業

食の大切さの勉強。稲の種まきから田植え、カカシづくり、稲刈り、太巻き寿司づくり、感謝祭等、里山の魅力を生かします。

○学力パワーアップ授業支援事業

漢字パワーアップ授業を通して、児童との「きずな」を深め会話を大切にしていきます。

3 「見守り／お元氣確認委員会」の活動

○古市場市営団地での活動は3年目に入り、見守り希望者との会話も増え、引きこもりや社会的孤立対策に効果が表れています。この担い手としての小中高生の協力を呼び掛けていきます。

○他の地域にもこの活動が広がるように、声掛けを行います。本年度は八十歳以上の方で、一人で生活されている方への声掛け活動を歳末に行います。

4 二十九年度の福祉事業に向けて

○地域発展に尽力されてきた方も、高齢化が進み、体力的に困難な作業が増えてきています。

「ゴミ出し」「電球の取り換え」「棚づくり」「家具の移動」「芝刈り」「庭木の剪定」等、ちよつとしたお手伝いをしてくれる人がおられたら、自立した生活ができるのではと思っています。地域住民でできる範囲の「お助け隊」の組織化が必要な時代となりつつあります。

この主旨にご賛同いただけるボランティアを募集しております。(岡本まで 電話292-1881)

平成二十八年年度

椎名地区防犯パトロール隊の紹介式

五月二日 月曜日

・全校集会 校長先生の話、パトロール隊紹介

・情報交換会 児童の登校下校のマナーや危険箇所に

ついて話し合いが行われました

・千葉市セーフティウォッチャー事業功労者表彰

椎名地区は舟串二三子様・内海薫様が十年間の活動が認められ表彰されました。

『あなたは永年にわたり学校セーフティウォッチャーとして児童生徒の安心安全に寄与されその功績は誠に顕著であります。よってここにその功績をたたえ表彰します。平成二十八年四月一日 千葉市教育委員会』
おめでどうございませう。

平成二十八年年度

椎名地区防災訓練のお知らせ

と参加ご協力をお願いします

十四連協 会長 小山 義春



政府地震調査委員会の最新発表があり、千葉県は、近い将来に大地震の発生する確率が最も高い県であることが公表されました。明日にでも大地震が来てもおかしくない状態なのでしょう。

この機会に身の回りを確認してみましよう。地震を発生させないように出来ませんが、災害を減らすことは出来ます。

防災用品の準備は大丈夫ですか。避難所はご存知ですか。高齢者や体の不自由な人の避難方法に、不安はありませんか。いざという時のために、行政まかせや他人ごとではなく、まず自分や家族が助かる備えをしましょう。無事助かった人は、困った人を助け合いましょう。

こんな思いで、椎名地区の主な九団体(連協、避難所委員会、スポ振、社協、育成会、消防団、日赤、民児協、PTA)が集まり、合同防災訓練に向けて毎月会議を開催し、決定事項を積極的に推進しています。

訓練日程は、九月四日(日)九時十五分に古市場公園に集合し、避難、避難所開設、AED、三角巾、煙体験、簡易トイレ作成、給食・給水訓練や女性消防のポンプ操法等を計画しています。

目標人数は二百五十名です。

より多くの皆様のご参加を
お願いします。



千葉市あんしんケアセンター 鎌取は
保健・福祉・介護・高齢者の相談窓口です
「お気軽にご相談ください」

センター長 池田 久江

日本は超高齢社会に入りました。総人口に対する65才以上の割合を「高齢化率」と呼びます。これが21%を超えた状態を超高齢社会と言います。

(表1参照)
今後、高齢者人口は増え、在宅介護を行う世帯の6割が「老老介護」「認認介護」「多重介護」の状態になっていきます。

そのような状態になりますと、誰にも助けを求めず、自分達だけで問題を抱え込みがちになります。

例えば

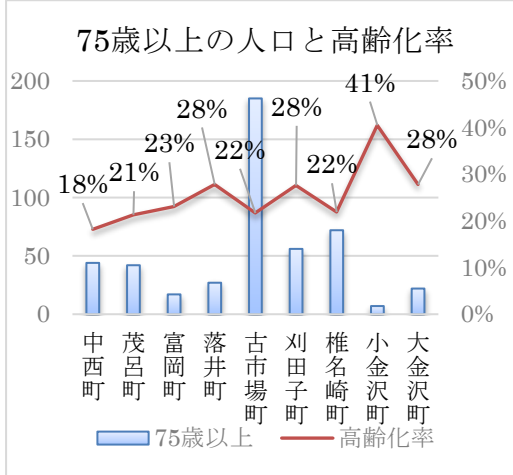
- ① 自宅での生活に関する不安な方。
- ② 家庭での介護で疲れてしまっている方。
- ③ お金が限界となり利用に不安を抱えている方。
- ④ 認知症の方の介護に苦労している方。
- ⑤ 買い物や病院の通院に悩んでいる方。

お話しをうかがい相談に応じます。

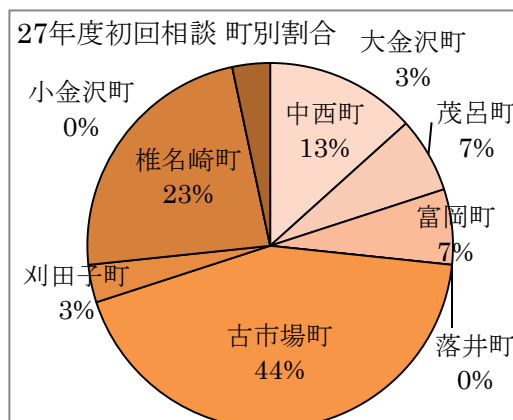
相談方法は

- ① ゆみくる 鎌取ショッピングセンター5階に直接来て頂く
- ② 電話の相談にも応じます。
043-293-6911
- ③ 連絡があれば自宅に訪問し相談します。
- ④ 古市場サロン・ふれあい食事会でもおこなっています。
- ⑤ 日曜・祝日は留守番電話で緊急時のみ別途連絡先をご案内しています。相談は全て無料です。

(表1)



(27年度の相談)



草刈堰・中川溝、生実溝の起源者
鴉田五郎右衛門

灌漑水路完成までの苦難と業績

1 五郎右衛門十五歳にして名主役になる
五郎右衛門は鴉田対馬と云い、大阪より移りて下総国椎名郷字上郷茂呂の地に住す。氏は其の長男にして天正四年五月二五日出生す。五郎右衛門は十五歳にして名主役申付けられ、先代より勤役中の功勞により苗字帯刀を許される。

2 五郎右衛門村の水利害く早害の甚(はなはだ)しきを憂う
五郎右衛門常に附数個の村の水利害しく年々早害の甚だしきを憂へ、水源を求めて水路を開鑿(かいさく)し、以て作物の豊穰を助け

とし、百方苦心の結果、数年間実踏査して終に上総の国山辺郡土気付近の山間に源を發し、沿道の小流を合わせ、市原郡瀬又、押沼、潤井戸その他の各村を縫い草刈村に来るものにして、其の量豊富優に数百町部の灌漑に供するに足る流域を發見し、茲に開鑿の意を決せり。是れ即ち今の草刈堰の起源なり。

3 未曾有の大工事の設計を作る
然れども、其の地域たる他村に係り、容易に着手する能はず、加ふるに堤袋を開鑿すると共に排水路の修築を為さざるべからず、當時にありては実に未曾有の大工事にして他領の關係せるを以て、第一地元村の協力を得べき必要あるより、草刈名主加藤太郎左衛門に議り、遂にその賛成を得、爾来一層奮勵し昼夜の別なく、設計(図)を作る。

4 水路を三方に作る
水路は三方に採り、一を市原郡大厩菊間高島を経て至るものを中川溝と稱し、延長一里半。一は千葉郡中西、落井、刈田子、椎名崎、南生実、濱野の各村を経て村田に至るものを生実溝を稱へ、延長一里餘又一は村田川と稱し、中川溝との中間にして上総下総の境界を疎通し、海に注ぐ大水路にして灌排の両用を兼ねしむ。

5 慶長十七年五月工事を起こす
慶長十七年五月、水下関係町村並びに地元村人夫を募りて工事を起こす。爾来五郎右衛門自ら堤普請の旗を立て、乗馬にて日々現場に出張し百人以上の工夫を督(うなが)して只管工事の進行を計り、農民の休戚(きゆうせき)に關することと思ひて櫛風沐雨(しつぷうもくう)の意は風雨にさらされて辛苦奔走することの勞を厭(いや)はず殆ど身命を賭して奮闘努力せり。(つづく)

『原文のまま紹介。見出しは原文の一部を引用／文責岡本』

『出典千葉郡誌(復刻版より)』

椎名地区福祉活動通信
「あ・れ・こ・れ」

○福祉総会時に協力いただきました熊本地震災害義援金は「3,474円」集まりました。社会福祉協議会を通して日本赤十字社にお送りいたしました。ありがとうございます。(5/8)

○総会時承認されました熊本地地方地震災害義援金「3万円」は社会福祉協議会を通して日本赤十字社にお送りいたしました。ありがとうございます。(5/12)

○広報誌「椎名だより」について、古市場町20部、第一団地10部、第三団地11部に変更してほしいとの申し出がありました。

○環境整備委員会・公民館花壇づくりと植栽・本田、小川、秋葉、高梨、岡本が参加。(5/14)
○地域支え合い活動、社協所長、鴉田、田久保、小川、岡本の役員が庭木の伐採を行いました。(5/21)

○第二回「古市場寄席」が第二団地集会所で開催。三遊亭金一さんが「粗忽長屋で粗忽な人が自分の死体と対面する話」。めずらし家芝楽さん「江戸人の京都見物祇園債で京都と江戸の自慢合戦の話」を演じました。27人が参加し、笑いの中に終了しました。(6/9) 次回は12月8日。

○認知症サポーター養成講座「認知症ってなんでしよう」という題名で古市場第一団地を会場に開催されました。講師は千葉市あんしんケアセンター鎌取の池田センター長です。36名の方が参加され認知症についての理解を深めました。(6/10)

○第一回の椎名だより編集会議開催しました。委員に新しく小松万亀子さんと笠井隆さんにお願いたしました。編集に対してのご意見等がありましたら各委員の方へご連絡ください。

○ご協力をお願いします。(6/15)
○その他・区・市運営委員会／健康課会議／地域支えあい活動推進協会に参加しました。